

# 2017年9月期 第1四半期決算説明



## 【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

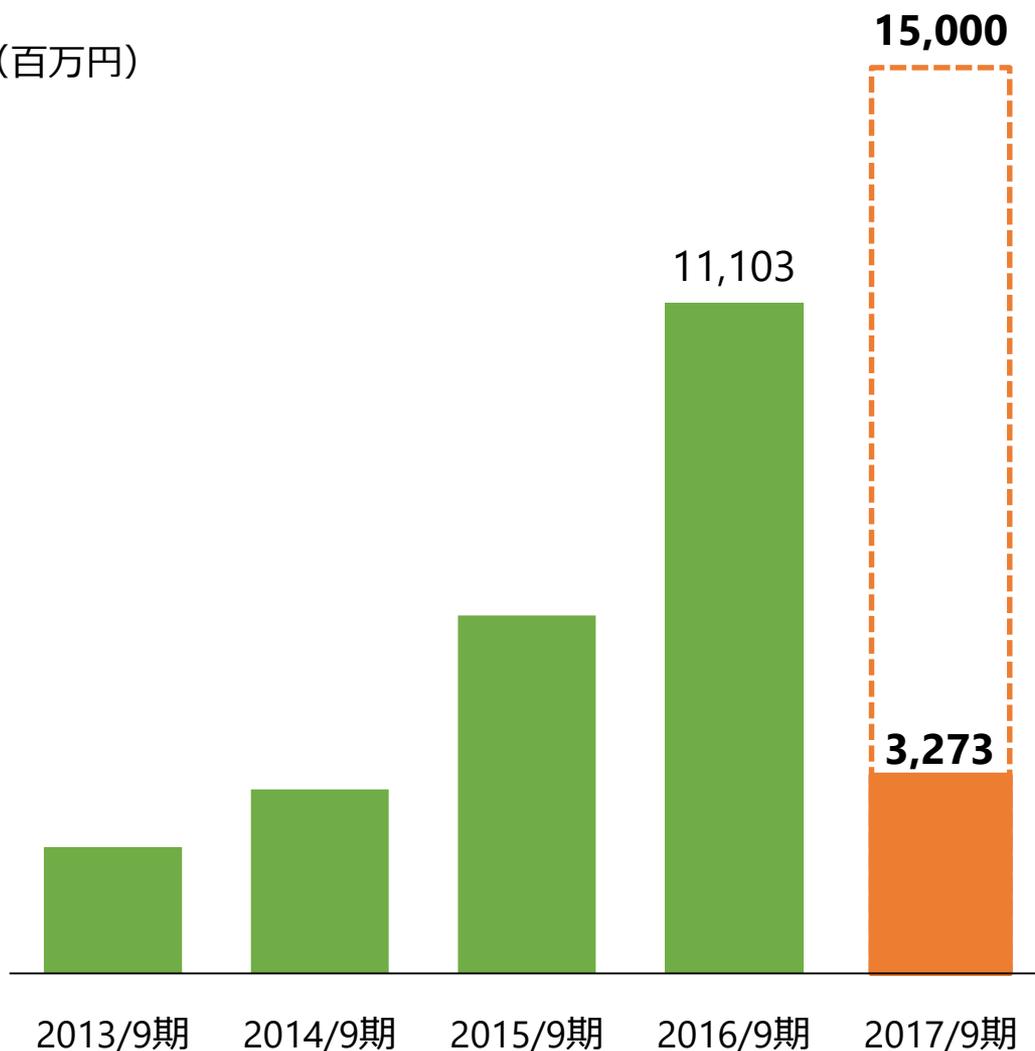
株式会社ユーグレナ

2017年2月

# 2017年9月期 第1四半期決算概要

# 業績推移一売上高

(百万円)



年度目標の  
達成に向けて  
順調に進捗

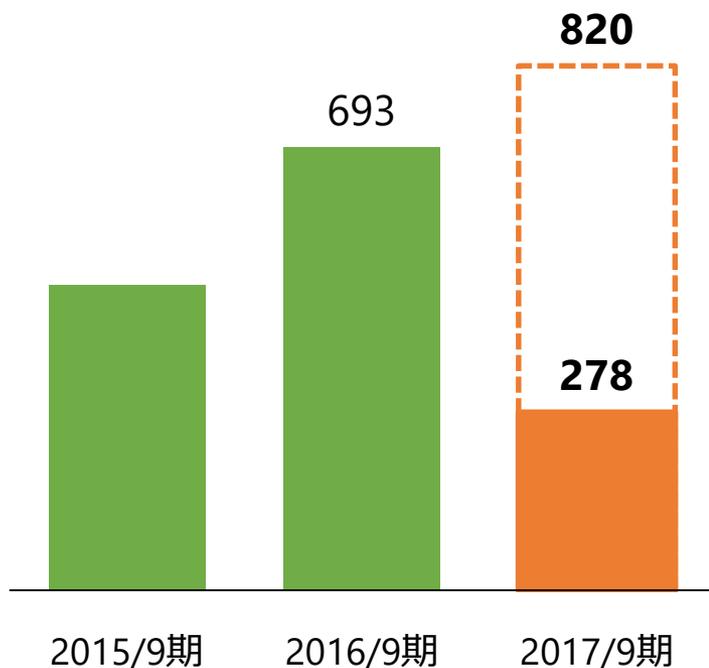


# 業績推移—営業利益・経常利益

## 利益も順調に推移

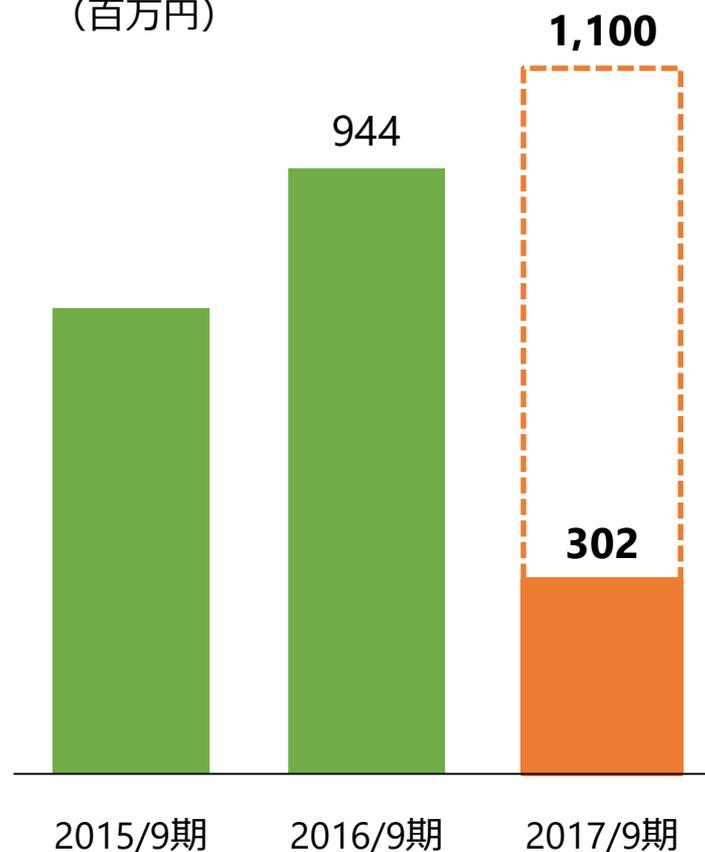
### 営業利益

(百万円)

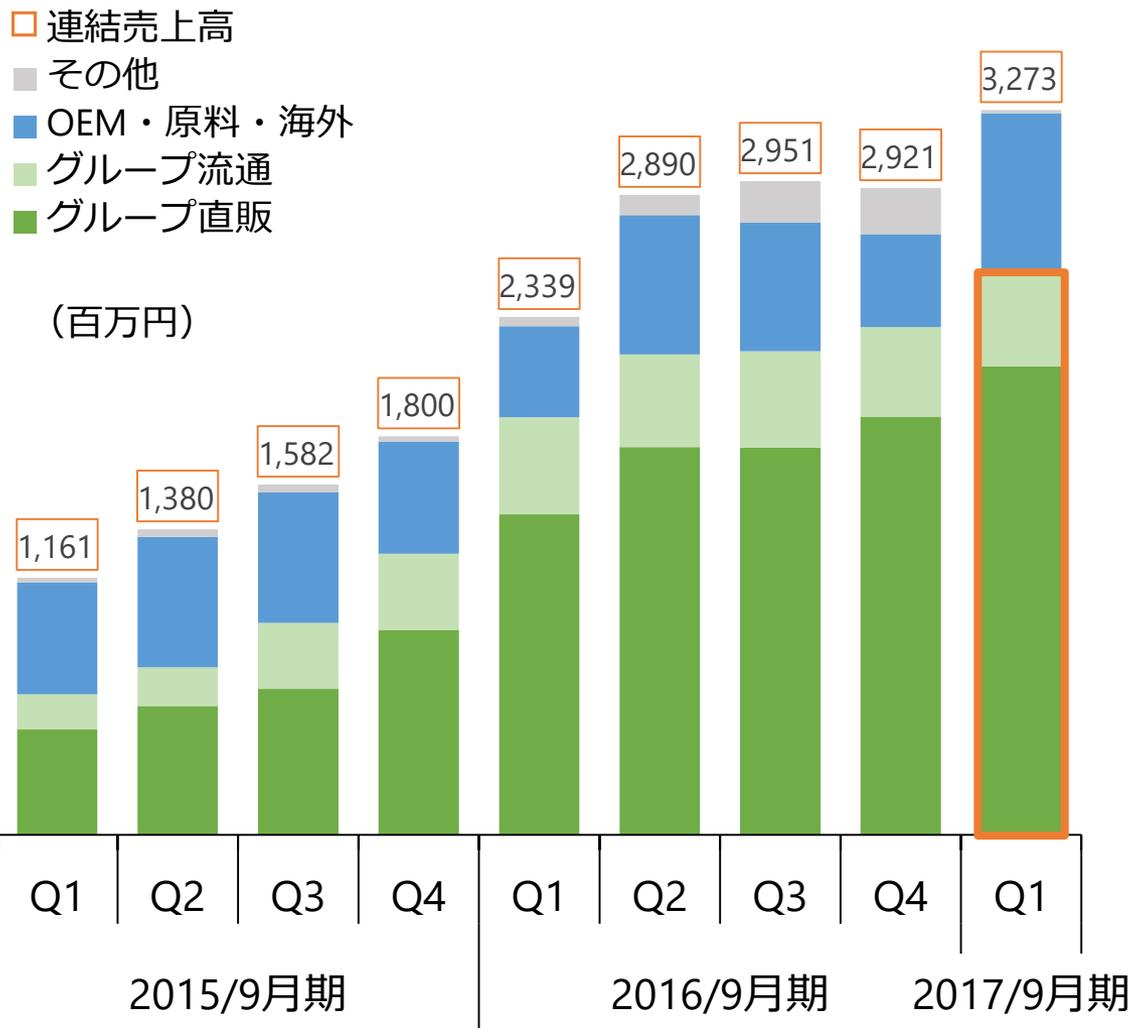


### 経常利益

(百万円)



# 四半期業績推移—売上構造の推移

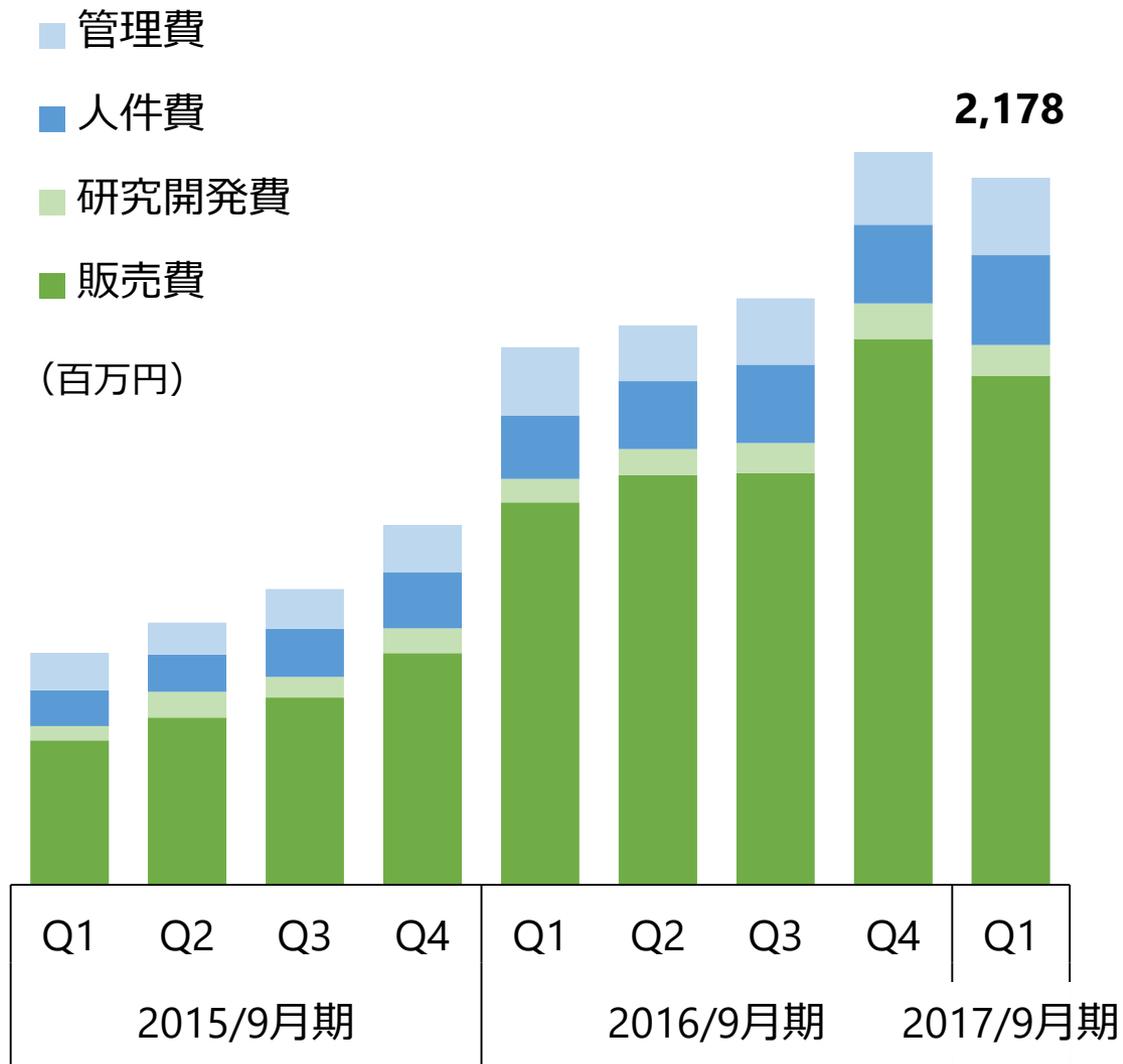


自社グループ商品の  
構成比は

77%に拡大



# 四半期業績推移一販管費



積極的な  
広告宣伝  
を継続

# 財務サマリー（四半期セグメント別 連結損益計算書）

(百万円)	2014/9期					2015/9期					2016/9期					2017/9期
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q
<b>売上高</b>	<b>701</b>	<b>752</b>	<b>731</b>	<b>862</b>	<b>3,046</b>	<b>1,162</b>	<b>1,380</b>	<b>1,582</b>	<b>1,800</b>	<b>5,924</b>	<b>2,340</b>	<b>2,890</b>	<b>2,952</b>	<b>2,921</b>	<b>11,103</b>	<b>3,273</b>
グループ直販	154	173	199	254	779	476	582	659	927	2,644	1,447	1,751	1,748	1,889	6,836	2,115
グループ流通	28	49	73	93	243	159	175	299	343	976	439	419	436	405	1,699	411
OEM・原料・海外	513	525	452	503	1,993	504	590	588	506	2,188	412	629	581	419	2,041	733
その他	7	5	7	13	32	22	34	36	25	116	42	91	186	208	528	14
売上原価	290	293	259	355	1,198	387	443	536	538	1,905	653	743	794	776	2,966	816
<b>売上総利益</b>	<b>411</b>	<b>459</b>	<b>472</b>	<b>507</b>	<b>1,849</b>	<b>775</b>	<b>937</b>	<b>1,046</b>	<b>1,262</b>	<b>4,019</b>	<b>1,687</b>	<b>2,147</b>	<b>2,158</b>	<b>2,145</b>	<b>8,137</b>	<b>2,457</b>
粗利率	59%	61%	65%	59%	61%	67%	68%	66%	70%	68%	72%	74%	73%	73%	73%	75%
販売管理費	369	440	446	450	1,706	715	808	911	1,109	3,543	1,656	1,724	1,807	2,257	7,443	2,178
販売費 <sup>(※)</sup>	172	228	227	247	873	445	515	577	713	2,251	1,179	1,262	1,268	1,681	5,390	1,568
(内 広告宣伝費)	111	147	138	127	523	242	246	316	392	1,196	722	719	707	1,071	3,219	981
人件費	91	97	99	101	388	110	114	148	173	546	196	210	241	243	889	276
管理費 <sup>(※)</sup>	69	65	79	58	271	116	99	123	146	484	209	172	205	224	809	239
研究開発費	37	50	42	45	174	44	79	64	76	262	71	80	93	109	354	95
<b>営業利益</b>	<b>41</b>	<b>19</b>	<b>25</b>	<b>57</b>	<b>142</b>	<b>60</b>	<b>129</b>	<b>134</b>	<b>153</b>	<b>476</b>	<b>31</b>	<b>423</b>	<b>352</b>	<b>-112</b>	<b>694</b>	<b>278</b>
営業外損益	-26	16	45	14	49	21	102	67	60	250	44	45	125	37	251	24
(内 助成金収入)	0	14	40	0	54	0	95	37	38	170	14	25	94	21	155	2
<b>経常利益</b>	<b>16</b>	<b>35</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	<b>191</b>	<b>81</b>	<b>231</b>	<b>202</b>	<b>213</b>	<b>726</b>	<b>75</b>	<b>468</b>	<b>476</b>	<b>-75</b>	<b>945</b>	<b>302</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>7</b>	<b>18</b>	<b>45</b>	<b>49</b>	<b>118</b>	<b>54</b>	<b>140</b>	<b>127</b>	<b>148</b>	<b>470</b>	<b>111</b>	<b>318</b>	<b>323</b>	<b>-78</b>	<b>673</b>	<b>209</b>
◆参考指標																
減価償却費	8.8	11.7	22.0	20.9	63.4	19.9	33.9	34.5	47.3	135.6	40.1	57.1	57.0	78.1	232.3	64.9
(内 M&A関連)												21.4	10.7	10.7	42.8	10.7
のれん償却額	0.9	0.9	0.9	0.9	3.6	0.9	0.9	11.8	21.1	34.7	29.0	14.9	21.9	47.1	113.0	21.0

注：

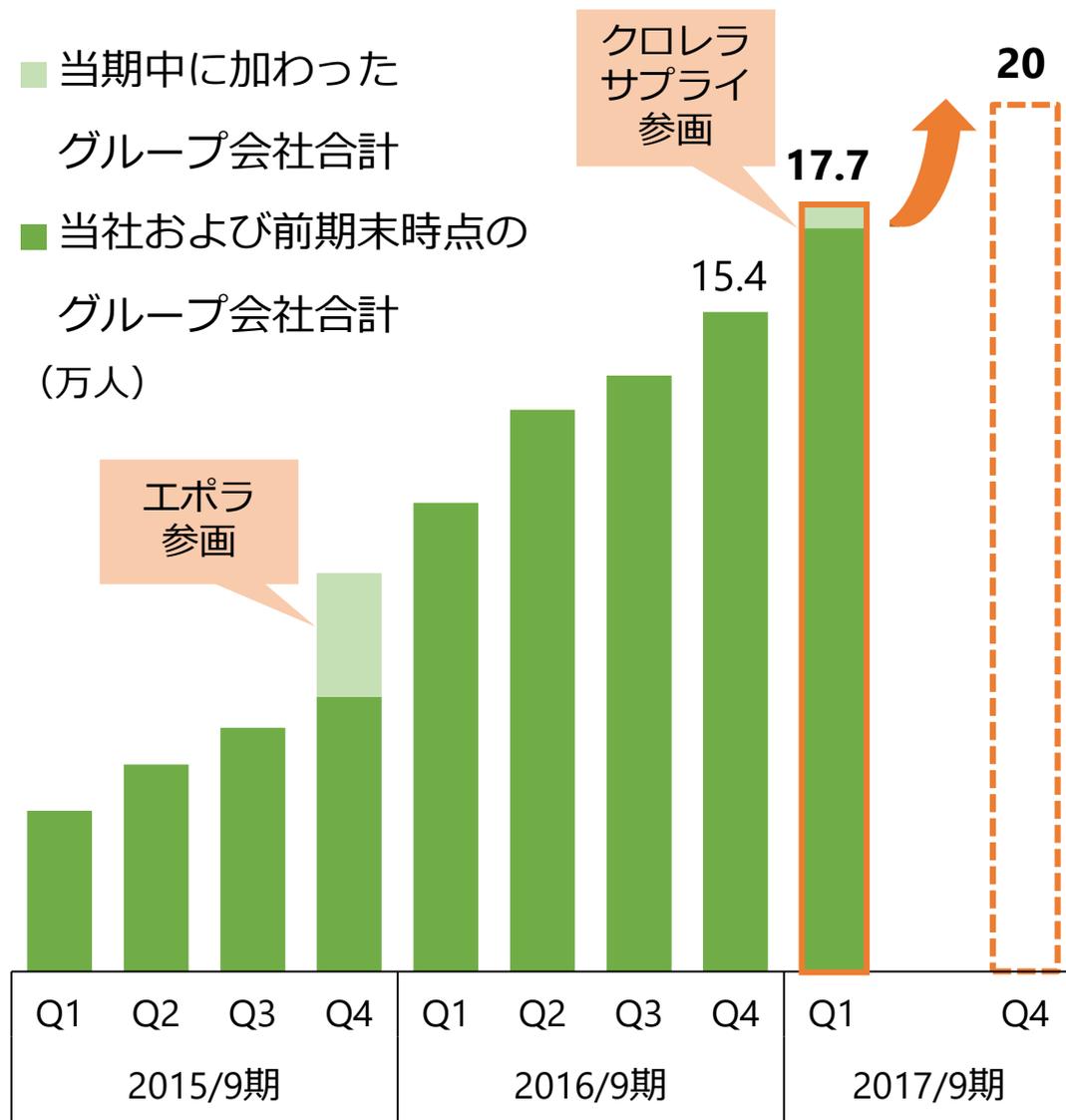
上記テーブルの数値は百万円未満を四捨五入しており、開示数値および本決算説明資料のチャート記載値（百万円未満を切捨て）と一致しない場合があります。本決算説明資料において、売上高の内訳分類に関して見直しを行い、「その他」計上額の一部を「グループ流通」「OEM・原料・海外」と過去に遡って区分変更した他、2016/9期に関してクロレラの区分を修正いたしました。このため、部分的に過去の公表データと異なっている箇所があります。また2016/9期より過去3期分のカード決済手数料、コールセンター委託費用を管理費から販売費へ組換えた為、販売費及び管理費が過去の公表データと異なる場合があります。

# ヘルスケア事業の進捗

# グループ直販一定期顧客数推移

■ 当期中に加わった  
グループ会社合計

■ 当社および前期末時点の  
グループ会社合計  
(万人)



## グループ定期 顧客数 20万人 目標



注：クロレラサプライ社は2016年12月1日付で当社グループに参画しましたが、会計上は2016年12月31日をみなし取得日として連結対象としております。

# グループ直販一商品ラインナップの拡充

## 既存商品ブランドのラインナップを拡充

多様な顧客ニーズに合わせた新バリエーションを提供



### 『one エモリエントリッチ』

保湿力を更に強化した  
高級ラインを提供

(2016/12/5より販売開始)



### 『ユーグレナの緑汁 抹茶仕立て』

飲み方の  
新バリエーション (ホット)  
を提供

(2017/1/4より販売開始)



### 『ユーグレナの緑汁 粒タイプ』

形状の新バリエーション  
を提供

(2017/2/1より販売開始)

# グループ流通一商品ラインナップの拡充

## 化粧品・カート缶も新ラインナップによりブランドを強化



メイクブランド  
『Before After  
euglena cosmetics』  
を新規展開

(2016/11/5より販売開始)

メンズ美容ブランド  
『B.C.A.D. HOMME』に  
シャンプー・美容液を追加

(2017/2/20より販売開始)

カート缶商品の名称を  
『飲むミドリムシ』に統一

新ラインナップ  
『飲むミドリムシ乳酸菌』も追加

(2017/2/1より販売開始)

# 研究開発活動の進捗

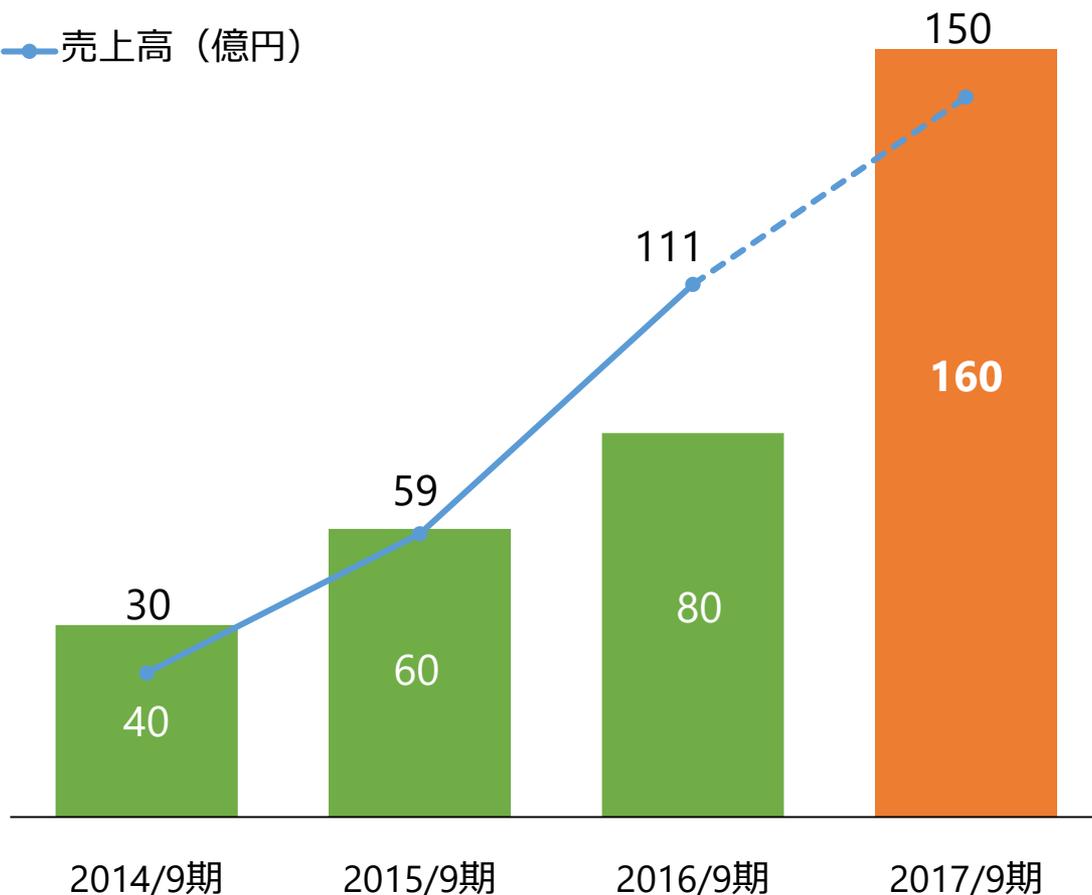
# 生産設備の増強

## ミドリムシ生産体制を年産160tに倍増

2017年2月1日より本格稼働。ミドリムシ市場の需要増加に対応

■ 生産体制（年産t、期末時点）

● 売上高（億円）



石垣島で生産される当社ユーグレナ粉末



2017年1月23日 竣工式の様子

# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの建設準備完了

## 2017年2月10日、千代田化工建設と工事等請負契約を締結

### 2018年10月末完成で建設スケジュールが確定

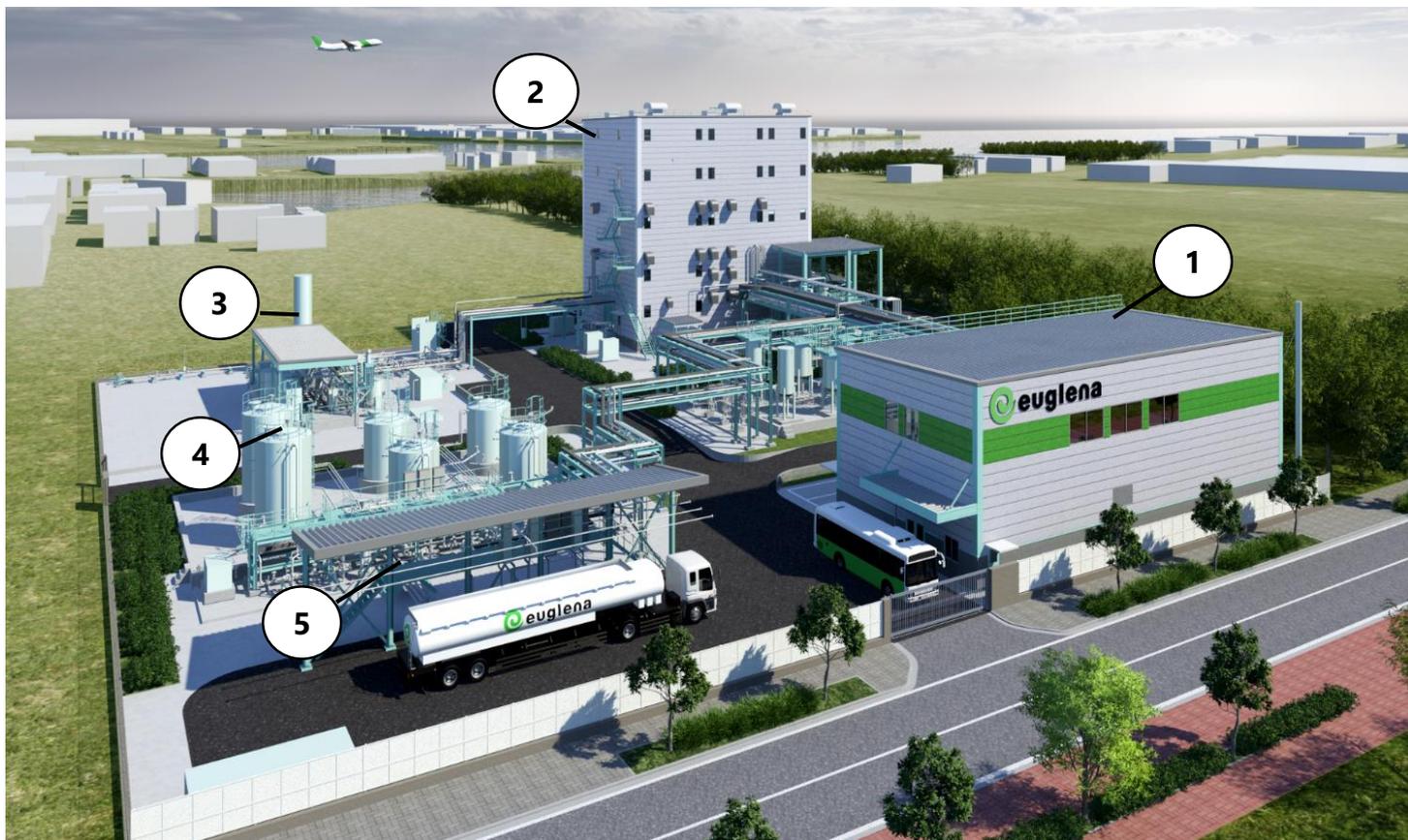
敷地：	旭硝子（株）京浜工場内（神奈川県横浜市鶴見区）
敷地面積：	7,787.6m <sup>2</sup>
製造能力：	日産5バレル
製造量：	年産125KL
生產品目：	バイオケロシン（ジェット燃料）、バイオディーゼル、バイオナフサ
採用技術：	Biofuels ISOCONVERSION Process (Chevron Lummus Global / ARA社よりライセンス供与)
投資総額：	約58億円
スケジュール：	2017年6月1日 着工、2018年10月31日 竣工、2019年前半 稼働



# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの最新完成イメージ図

## 基本設計の完成により、実証プラントの**完成イメージも精緻化**

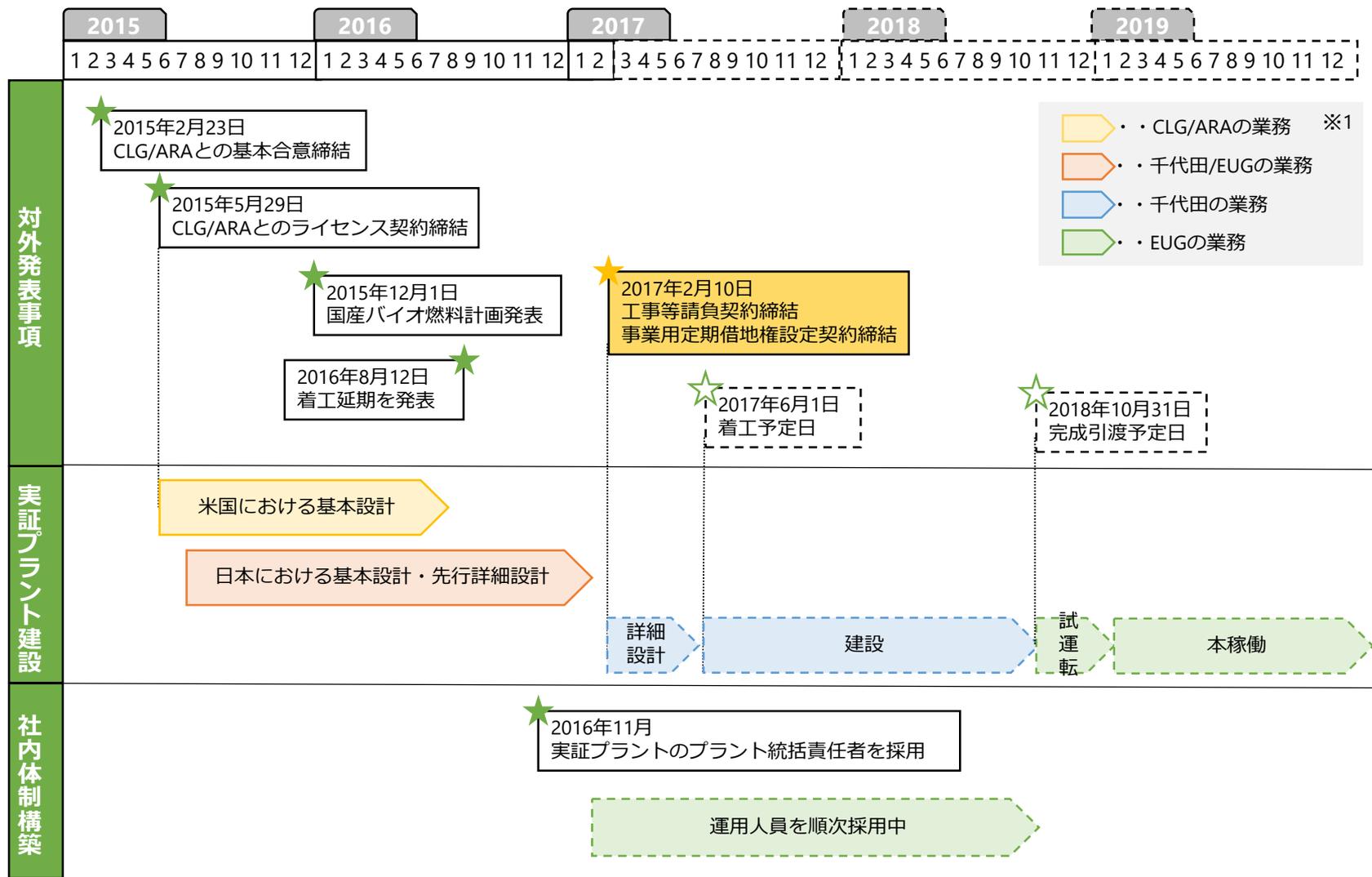
2019年前半のバイオジェット・ディーゼル燃料の生産開始に向けて前進



①事務棟 ②反応装置棟 ③用役設備 ④貯蔵タンク ⑤出荷場

# 国産バイオ燃料計画—これまでの歩みと今後のスケジュール

## 2020年迄の実用化に向けた製造面の体制整備は完了



(※1) CLG=Chevron Lummus Global、ARA=Applied Research Associates、千代田=千代田化工建設株式会社、EUG=株式会社ユーグレナ

バイオテクノロジーで昨日の不可能を今日可能にする。

